

## 第2回策定協議会（R元.8.1）における意見への対応方針

No	意見	対応方針
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の公共施設や道路、公園等をどう使いこなすか、どう維持管理をするかという視点が必要。</li> <li>いかに市民が主体となって既存ストックを使いこなすかというキーワードが入ると今後の課題にもつながると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の公共施設をどう使いこなし、どう維持管理するかについては、基本目標の「コンパクトで暮らしやすい都市」の基本方針として「公共施設等の創造的利用の実現」を位置づけ、各施策を具体化したい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外では空き家が大切にされ、空き家対策が成功していると感じる。宿泊施設として空き家が普通に利用されている。今後の都市づくりの中ではそういう展開もあるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家対策については、基本目標の「コンパクトで暮らしやすい都市」の基本方針として「空き家・空き地等の民間資源の活用」を位置づけ、各施策を具体化したい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島県の県都としての自覚を持つような柱を立てていただきたい。霧島市から指宿市にかけての軸の強化、リーディング都市としてのまちづくりという視点が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県都として自覚を持つような柱については、基本目標の「にぎわいと活力のある都市」の基本方針として「県都としての都市機能が集積された広域的な拠点の形成」を位置づけ、各施策を具体化したい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでもどこでも誰でも学びやすい都市づくりも重要だと思う。県内でも一番社会教育施設も集まっていて、学校も多く、暮らしやすい都市である鹿児島市という考え方がこの計画にも入るのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでもどこでも誰でも学びやすい都市づくりについては、基本目標の「にぎわいと活力のある都市」の基本方針として「県都としての都市機能が集積された広域的な拠点の形成」を位置づけ、各施策を具体化したい。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼ぐ、働くという視点があるとよい。鹿児島市で働く魅力、ブランドづくりがあるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼ぐ・働くという視点については、基本目標の「にぎわいと活力のある都市」の基本方針として「稼ぐ観光都市の実現」や「産業の成長促進に向けた多様な働き方の実現」を位置づけ、各施策を具体化したい。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生以上の子どもを対象とした次世代を育む環境の整備に関する具体策があるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代を育む環境の整備については、基本目標の「にぎわいと活力のある都市」の基本方針として「次世代を育む生活環境の整備」を位置づけ、各施策を具体化したい。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉をどこに位置づけていくのか。世代をまたぐ福祉を捉えたまちづくりを総合的にやっていかなければならないため、福祉の考え方をしっかり入れてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉については、都市づくりの全体に係る項目となるため、それぞれの基本方針の中で、各施策を具体化したい。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い方たちの意見も取り入れる機会を作っていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6大学の学生を対象にワークショップ等を行い、骨子案に対する意見を聴取することとしている。</li> </ul>